



平均値

## 読み方

へいきんち

## 英語

mean

## 説明

- データの分布の位置の代表値のひとつである。
- 通常、平均値と言う場合は、算術平均値を指す。
- 平均には、**算術平均**、**幾何平均**、**調和平均**、**加重平均**がある。
- 算術平均値の計算は、次の式のように、データを合計し、それをデータの個数で割り算をして算出する。
- 計算式で示すとつぎのようになる。

$$\text{平均値}\bar{X}=\frac{X_1+X_2+X_3+\cdots+X_n}{n}$$

$$\text{平均値}\bar{X}=\frac{\sum_{i=1}^n X_i}{n}$$

Σ(シグマ)はXというデータについて1からnまで合計することを意味する。

nはデータの個数である。

## Excelによる計算

Excel2013で算術平均値を計算するには……

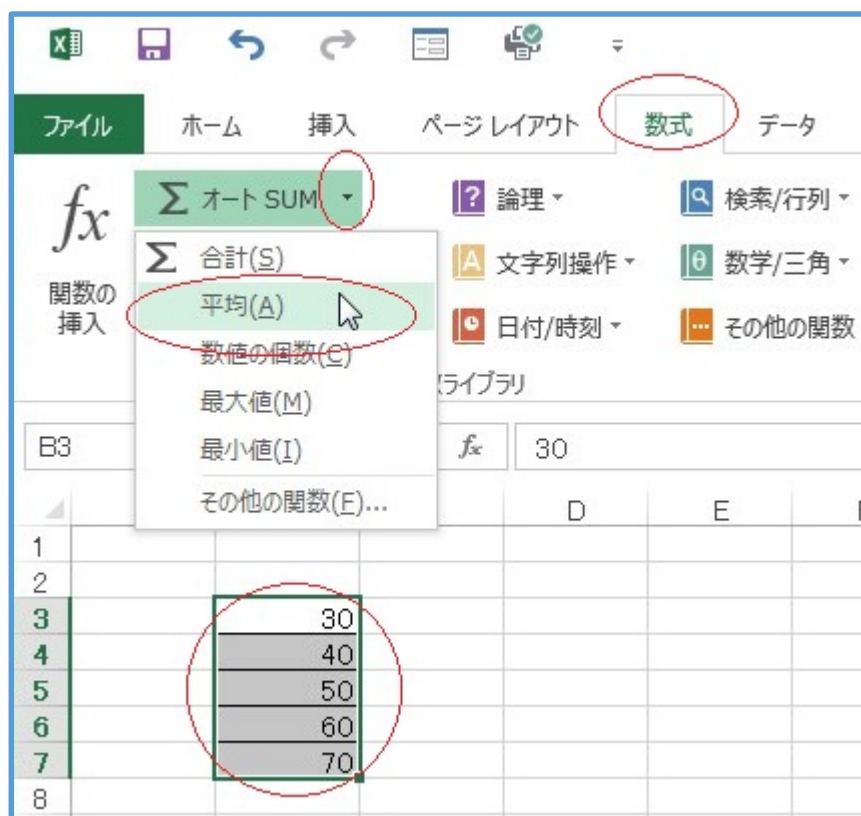
データを用意する

	30
	40
	50
	60
	70

オート SUM 機能を使う.....

対象データをマウスで選択する

数式部の「オート SUM」の「平均」をクリックする



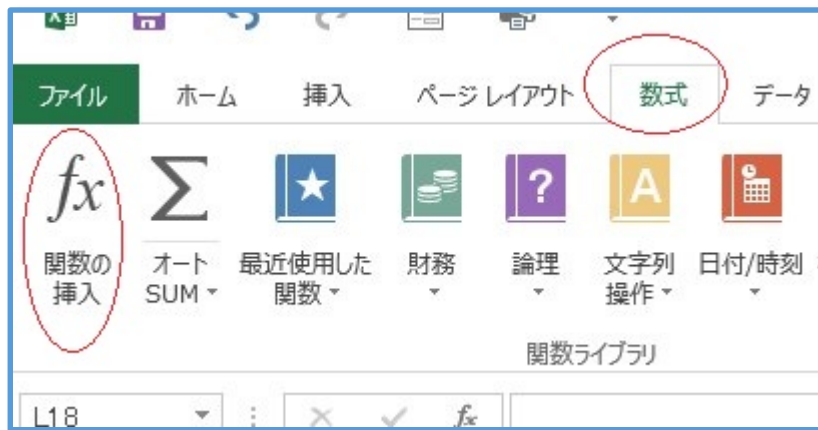
平均値が算出される

	30
	40
	50
	60
	70
	50

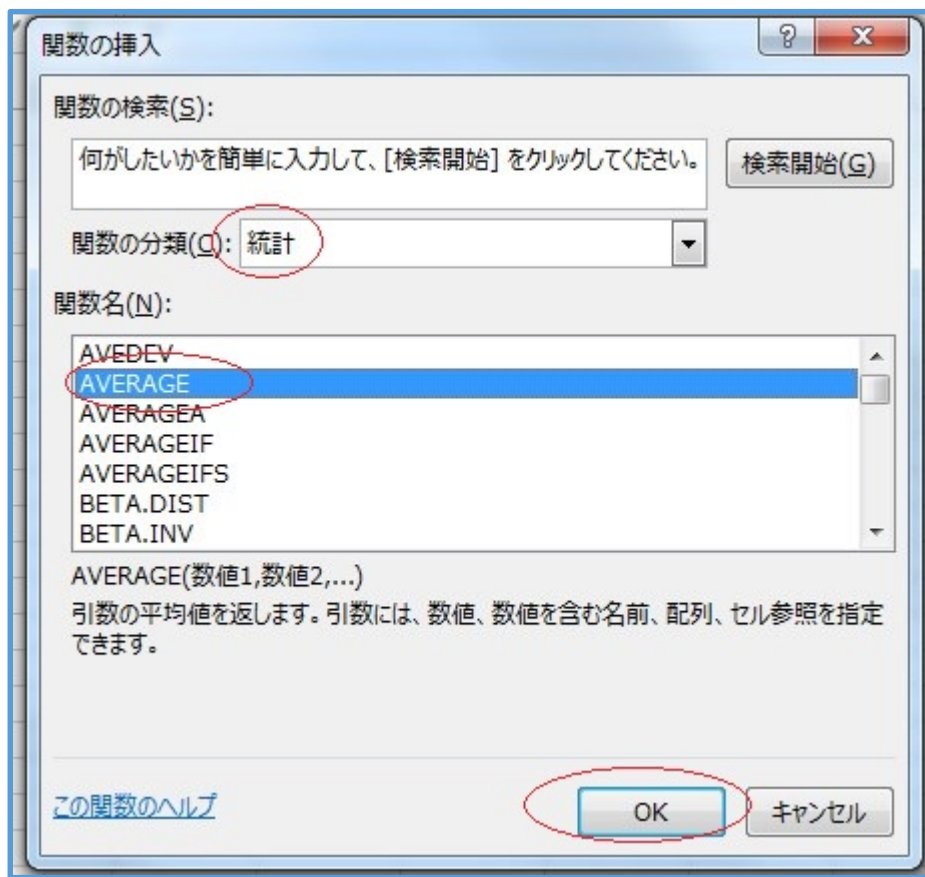
「統計」の「AVERAGE」関数を使う.....

- 「数式」タブの「関数を挿入」をクリックする。

	B	C	D	E
	30			
	40			
	50			
	60			
	70			

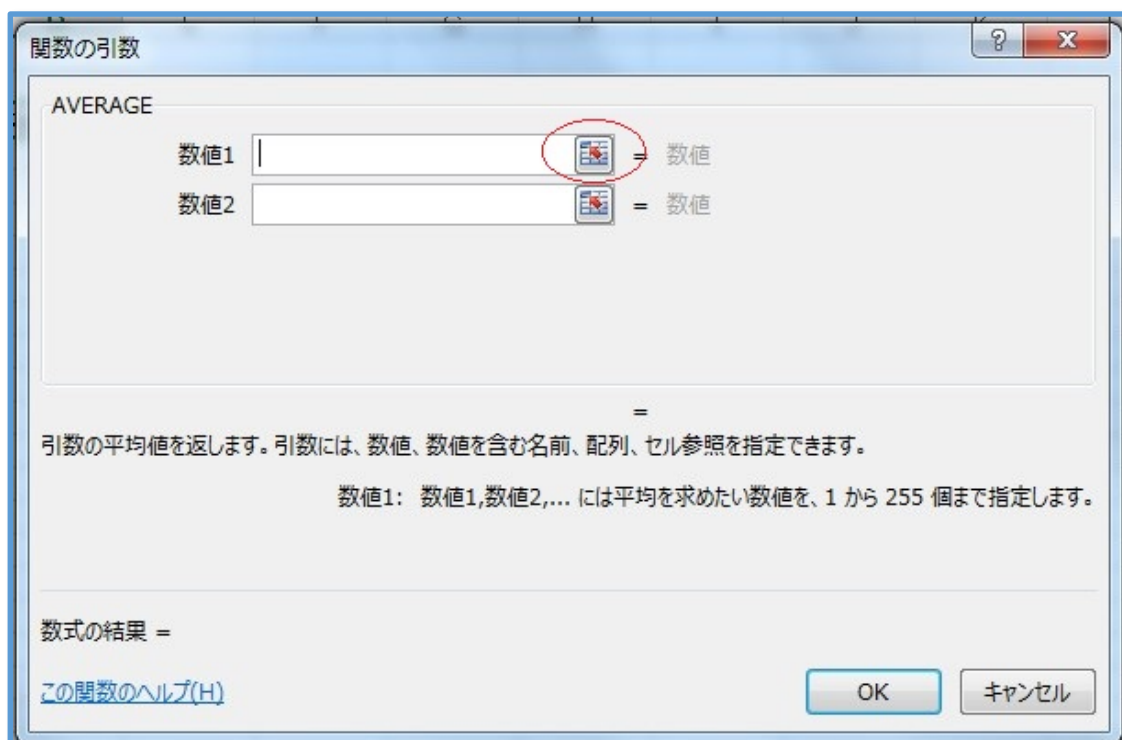


- 関数名で「統計」の「AVERAGE」を選択する。  
(関数を選択する前に、シートのデータの近くで、結果を表示するセルをマウスでポイントすること。)  
OK をクリックする

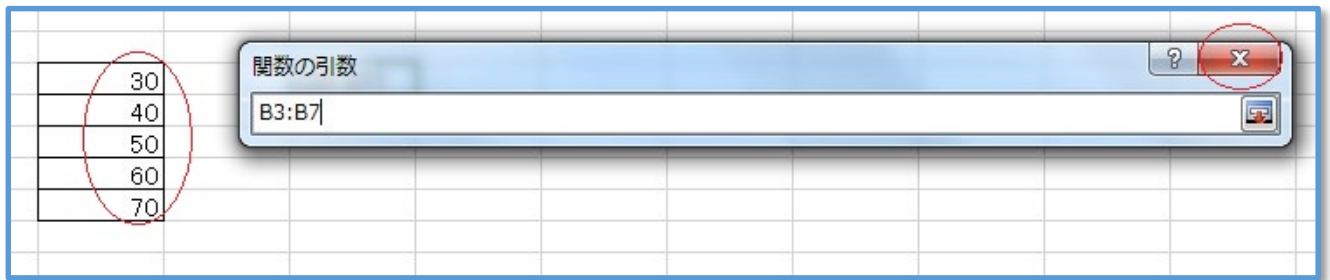


- 対象とするデータの範囲を指定して計算すると結果が表示される。

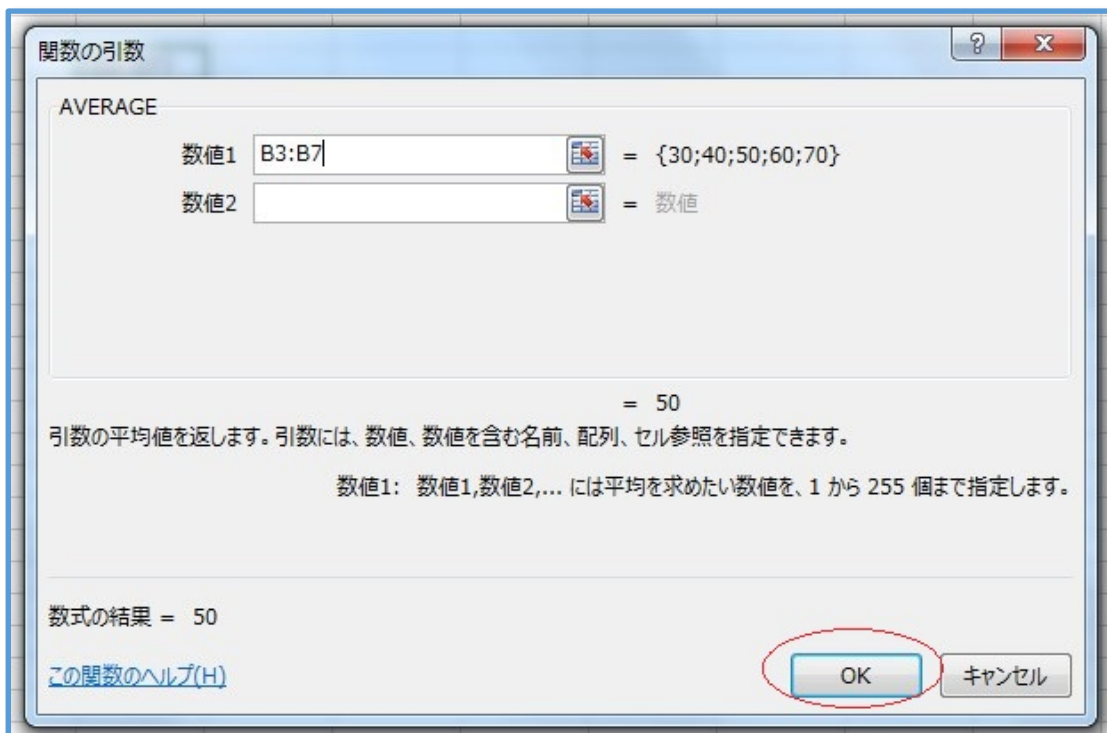
数値1のボタンをクリックする



対象とするデータをマウスで選択する。



OK をクリックする



OK ボタンをクリックすると結果が次のように表示される。

	30		50
	40		
	50		
	60		
	70		

Copy right reserved 2014 金型通信社